

日本臨床検査医学会

第2回日本専門医機構基本領域臨床検査専門医認定試験実施要領(2022年度)

日本専門医機構制定の臨床検査専門医制度により2022年度に実施する第2回臨床検査専門医認定試験の概要は以下のとおりです。

■試験日：2022年8月7日(日) 8:30-16:30

■場所：帝京大学 霞が関キャンパス (〒102-0093 東京都千代田区平河町2-16-1 平河町森タワー9階)

■願書請求期間：2022年4月1日(金)～4月30日(土)

■願書請求方法：

願書送付用の角2封筒に受験者の宛名(送付先住所、氏名)を記載、250円切手を貼付のうえ、認定試験受験申請書を同封のうえ、下記宛てに郵送で請求してください。

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-2 UIビル2F

日本臨床検査医学会 臨床検査専門医 係

■受験申請書受付期間：2022年5月6日(金)～6月10日(金)(必着)

■受験申請書出願方法：次記2点を一括して書留や簡易書留で郵送してください。

1) 受験申請書

2) プログラム統括責任者が発行した専門研修修了書

3) 郵便振替用紙コピー(受験料納入証明)

4) 受験票送信用封筒(角2封筒、住所氏名記載、250円切手貼付)

送付先 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-2 UIビル2F

日本臨床検査医学会 臨床検査専門医 係

■受験料 55,000円

上記出願期間内に日本臨床検査医学会郵便振替用紙を使用してお振込ください。

注：一度納入された受験料は返金いたしません。

■一次合否結果発表日：2022年10月初旬(予定)に、HPに掲載し、個別に一次合否結果を送付します。

備考：一次合格者は、日本臨床検査医学会に登録料(33,000円)が必要です。

日本臨床検査医学会で日本専門医機構に一次審査結果を報告後、機構において二次審査があり、

一次・二次合格者には機構より直接、認定料(11,000円)請求があり、認定証が送付されます。

■出題範囲と基準

(1) 日本専門医機構認定の臨床検査専門研修カリキュラム(https://www.jslm.org/newsys/nsys_05.pdf、以下カリキュラム)の内容にしたがい、筆記試験、実技試験。口頭試問(面接)を行う。カリキュラムの①臨床検査医学総論、②一般臨床検査学・臨床化学、③臨床血液学、④臨床微生物学、⑤臨床免疫学・輸血学、⑥遺伝子関連検査学、⑦臨床生理学、以上7科目について行う。

(2) 実技試験は、カリキュラムにおける「解釈・判定(判読、読影)できる」、「実施できる」の項目についての習得度を問う。

■出題範囲と基準

(1) 試験は日本専門医機構認定 基本領域臨床検査専門医の認定試験を適用する。日本専門医機構認定の臨床検査専門研修カリキュラム(https://www.jslm.org/newsys/nsys_05.pdf、以下新カリキュラム)の内容にしたがうが、評価する際の科目は旧カリキュラム(卒後研修カリキュラム)に準じさせる、すなわち、試験は新カリキュラムの①臨床検査医学総論、②一般臨床検査学・臨床化学、③臨床血液学、④臨床微生物学、⑤臨床免疫学・輸血学、⑥遺伝子関連検査学、⑦臨床生理学、以上7科目を行うが、評価は旧カリキュラム(対応する新カリキュラム番号)の一般臨床検査学・臨床化学(②)、臨床血液学

(③)、臨床微生物学(④)、臨床免疫学・輸血学(⑤)、臨床生理学(⑦)、臨床検査医学/臨床病理学総論(①と⑥)となる。

(2)実技試験は、新カリキュラムにおける、「解釈・判定(判読、読影)できる」、「実施できる」の項目についての習得度を問う。

■出題方式

- (1)筆記試験の問題回答は、7*科目について、多肢選択問題計100題(Aタイプ/5肢択一、X2タイプ/5肢択二、タキソノミー*II, III中心、視覚教材使用あり)
- (2)実技試験は6**科目、症例問題形式、動画(バーチャルスライド、画像、形態観察、検査実施)などによる出題。回答は原則として記述または口答による。
- (3)口頭試問(面接)は1科目(臨床検査医学総論)

*7科目：①臨床検査医学総論、②一般臨床検査学・臨床化学、③臨床血液学、④臨床微生物学、⑤臨床免疫学・輸血学、⑥遺伝子関連検査学、⑦臨床生理学

**6科目：②一般臨床検査学・臨床化学、③臨床血液学、④臨床微生物学、⑤臨床免疫学・輸血学、⑥遺伝子関連検査学、⑦臨床生理学

*タキソノミー(taxonomy, 評価領域分類)は、教育目標毎に問題の解答に要する知的能力のレベルを分類したもので、一般に認知領域ではI・II・III型に分類される。

I型は単純な知識の想起によって解答できる問題、II型は与えられた情報を理解・解釈してその結果に基づいて解答する問題、III型は設問文の状況を理解・解釈した上で、各選択肢の持つ意味を解釈して具体的な問題解決を求める問題である。

■実技試験の概要

- 一般臨床検査学・臨床化学の内容は、測定前プロセスの影響、検査の内部管理の手法、検査性能・基準値(基準範囲)の設定・評価(ROC曲線、カットオフ値など)、検査の分析的妥当性・臨床的妥当性、酵素アイソザイム検査、尿沈渣所見の判定・評価、尿沈渣標本作製などとする。
- 臨床血液学の内容は、採血(サンプリング)、自動血球計数機器、バーチャルスライドによる血液形態所見(白血球系・赤血球系・血小板系疾患、末梢血・骨髓塗抹標本)、フローサイトメトリーによる細胞表面マーカー所見、止血凝固検査の判定・評価などとする。
- 臨床微生物学の内容は、塗抹標本の顕微鏡による観察、抗菌薬耐性菌、寄生虫検査などの検査所見の判定・評価とする。
- 臨床免疫学・輸血学の内容は、血液型判定、クロスマッチ、不規則抗体判定、蛋白分画、抗核抗体、免疫電気泳動などの検査所見の判定・評価とする。
- 遺伝子関連検査学の内容は、遺伝子関連検査の基礎(分子遺伝学や遺伝性疾患の基本事項、遺伝子関連検査の概略、遺伝学的検査における倫理条項)、遺伝子検査技術(試料の取り扱い、遺伝子検査法の原理と問題点、精度管理)、遺伝子関連検査の判定と解釈などとする。
- 臨床生理学の内容は、標準12誘導心電図検査の基本手技、心電図・超音波・肺機能・脳波などの検査所見の評価・判定とする。

■口頭試問(面接)の概要

口頭試問はカリキュラムの①臨床検査医学総論の項目の習得度を問う。また、医師としての人間性も評価の対象となる。